



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月30日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 吉水 あつ子

TEL 03-3667-7811

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

2021年6月10日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,992	0.2	1,436	3.7	1,771	7.7	1,198	0.1
2020年3月期	18,958	3.4	1,491	10.5	1,644	4.5	1,197	248.0

(注) 包括利益 2021年3月期 1,688百万円 (65.1%) 2020年3月期 1,022百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	44.63		6.8	7.9	7.6
2020年3月期	44.58		7.2	7.5	7.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 118百万円 2020年3月期 111百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	23,475	18,246	78.2	684.04
2020年3月期	21,490	16,853	78.9	631.77

(参考) 自己資本 2021年3月期 18,367百万円 2020年3月期 16,964百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,837	478	345	3,967
2020年3月期	749	901	576	2,938

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		11.00	11.00	295	24.7	1.8
2021年3月期		0.00		11.00	11.00	295	24.6	1.7
2022年3月期(予想)		0.00		11.00	11.00		29.5	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	2.1	1,300	9.5	1,500	15.3	1,000	16.6	37.24

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	29,748,200 株	2020年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2021年3月期	2,896,189 株	2020年3月期	2,896,020 株
期中平均株式数	2021年3月期	26,852,143 株	2020年3月期	26,852,234 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,716	0.5	1,170	4.5	1,502	1.8	1,004	8.1
2020年3月期	12,647	1.8	1,225	5.0	1,475	2.9	1,093	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	37.42	
2020年3月期	40.71	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	19,926		16,777		84.2		624.81	
2020年3月期	18,387		15,538		84.5		578.67	

(参考) 自己資本 2021年3月期 16,777百万円 2020年3月期 15,538百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により社会・経済活動の停滞、消費マインドの低下が進むなか、政府による行動制限の緩和・消費刺激策により一時的に持ち直すかのような兆しが見られました。しかしながら、最近においては新型コロナウイルス感染症の再拡大が深刻化しており、景気の先行きは極めて不透明な状況となっております。

精糖業界においては、砂糖消費が減少傾向にあるなか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で消費が落ち込み、厳しい販売環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖事業においては製品の安定供給に取り組み、機能性素材事業においては、引き続き高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高18,992百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益1,436百万円（同3.7%減）、経常利益1,771百万円（同7.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,198百万円（同0.1%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①精糖

精糖事業につきましては、海外原糖市況は、ニューヨーク先物市場が期初10.39セント（1ポンド当たり）で始まり、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済の減退からリスクオフの動きが継続し、2020年4月に9.05セントを付けました。その後はタイ国及び欧州地域の減産観測やブラジルでの干ばつ、原油高などもあり、砂糖需給について供給不足の観測が流れると一転、上昇基調に変わり、さらに世界的な金融緩和による余剰資金の流入などにより急騰し2021年2月に18.94セントを付けた後、14.77セントで期末を迎えました。

一方、国内製品市況は期初東京現物相場（日本経済新聞掲載）187円～188円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりましたが、期末直前の2021年3月に5円上昇し、192円～193円で期末を迎えました。

製品の荷動きについては、当連結会計年度の上半期は新型コロナウイルス感染症拡大により、大幅に消費が落ち込み前期割れの販売状況が続きました。その後、年末にかけて徐々に消費が回復してきましたが、年明けに緊急事態宣言が再発出され、消費回復に水をさすかたちとなり、通期の販売数量は前期を下回る結果となりました。利益面では販売数量が減少しましたが、販売管理費が減少したことで、ほぼ前期並みとなりました。

以上の結果、売上高は10,510百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益1,579百万円（同0.0%減）の減収減益となりました。

②機能性素材

機能性素材事業につきましては、機能性食品素材「イヌリン」は、国内において大手ユーザーに機能性表示食品として新規採用されたことなどから販売数量は前期を上回りました。特にタンパク補強製品の需要が高まるなか、マスキングや食感改良の効果が認められたこと、腸内環境改善による免疫効果向上がメディアで紹介されたことなどが拡販の後押しになりました。海外においては、タイで飲料などの新製品に採用されたこと、フィリピンでも粉末乳製品向けなどの採用により販売数量は前期比で大幅に伸長しました。

切花活力剤「キープ・フラワー」は、新型コロナウイルス感染症拡大でイベント需要が減り、業務用製品の取扱いが減少するなか、家庭向け巣ごもり需要の取り組みをするべくテレビCMの継続を行った結果、小売用製品は前年比で増収となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、新型コロナウイルス感染症拡大により、菓子、飲料などの消費が落ち込んだことから、主力製品のペクチン、ゼラチンが減少し、前期比で減収となりました。

以上の結果、機能性素材事業全体で売上高7,653百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益360百万円（同12.5%増）の増収増益となりました。

③不動産

不動産事業につきましては、2020年9月の本社移転に伴い、旧本社ビルのテナント賃料減少や本社移転費用などにより、売上高581百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益459百万円（同10.4%減）の減収減益となりました。

④その他食品

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高247百万円（前年同期比24.6%増）、営業損失25百万円（前年同期 営業損失56百万円）の増収増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9.2%増加し23,475百万円となりました。当連結会計年度における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

①資産

当連結会計年度における資産は、流動資産で前連結会計年度末に比べ9.3%増加し、10,364百万円となりました。これは主として現金及び預金の増加などによるものであります。

また、固定資産では、前連結会計年度末に比べ9.1%増加し、13,110百万円となりました。これは主として投資有価証券の増加などによるものであります。

②負債

当連結会計年度における負債は、流動負債で前連結会計年度末に比べ15.2%増加し、3,632百万円となりました。これは主として未払法人税等の増加などによるものであります。

また、固定負債では、前連結会計年度末に比べ7.5%増加し、1,595百万円となりました。これは主として繰延税金負債の増加などによるものであります。

③純資産

当連結会計年度における純資産は、前連結会計年度末に比べ8.3%増加し、18,246百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,028百万円増加し、3,967百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,837百万円（前年同期比145.1%増）となりました。これは主として税金等調整前当期純利益の計上、たな卸資産の減少などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、478百万円（前年同期比46.9%減）となりました。これは主として投資有価証券の取得による支出などによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、345百万円（前年同期比40.2%減）となりました。これは主として配当金の支払及び長期借入金の返済による支出などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	72.2	72.6	73.6	78.9	78.2
時価ベースの自己資本比率	67.4	77.6	69.8	62.6	64.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	1.4	1.6	2.2	0.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	55.2	46.7	36.1	109.8

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×発行済株式数（自己株式控除後）により計算しております。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

4. 2017年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大による緊急事態宣言の再発出など経済活動に大きな影響が懸念されるなか、当社グループは、引き続き、製品の安定供給及び品質管理を重要課題として取り組むとともに、タイ連結子会社を中心に海外事業の推進に注力してまいります。

精糖事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、加糖調製品や他甘味料の浸食、少子高齢化などによる砂糖の消費減少傾向に歯止めがかからない厳しい状況が続いております。このような状況下においても引き続き、営業体制強化を図りながら、品質管理を徹底して顧客満足度を高めてまいります。さらに、堅実で安定した原材料仕入れを図りながらコスト削減に努めてまいります。

機能性素材事業につきましては、イヌリンの国内販売において市場ニーズを適切に捉えながら、機能性表示食品としての拡販を図ってまいります。海外販売においては、タイをはじめとした東南アジアを中心に更なる拡販を目指してまいります。

不動産事業につきましては、自社所有賃貸物件の維持管理による安定収益の確保に努めてまいります。

以上の結果、2022年3月期の連結業績予想は、売上高19,400百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益1,300百万円（同9.5%減）、経常利益1,500百万円（同15.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円（同16.6%減）の増収減益を見込んでおります

なお、上記業績予想については、緊急事態宣言下での新型コロナウイルス感染症拡大の影響を加味して作成しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較及び企業間比較の可能性を勘案し、日本基準を適用して連結財務諸表を作成しております。なお、今後も日本基準の改定にも適宜対応しながら、国内外の情勢を見極め、状況の変化に適切に対応できるようIFRSの任意適用に関する検討は行ってまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,638,735	3,667,721
受取手形及び売掛金	2,569,323	2,800,434
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,115,006	1,851,750
仕掛品	142,800	99,488
原材料及び貯蔵品	686,590	638,827
その他	1,029,209	1,007,944
貸倒引当金	△2,406	△1,304
流動資産合計	9,479,259	10,364,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	424,033	340,353
機械装置及び運搬具(純額)	120,163	201,776
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	5,380	15,582
その他(純額)	74,088	109,598
有形固定資産合計	3,151,100	3,194,747
無形固定資産		
のれん	37,864	2,716
その他	129,230	69,800
無形固定資産合計	167,094	72,516
投資その他の資産		
投資有価証券	6,305,030	7,406,626
長期貸付金	341,736	171,840
関係会社長期貸付金	1,757,700	1,792,800
退職給付に係る資産	-	36,672
その他	313,502	454,660
貸倒引当金	△24,430	△19,078
投資その他の資産合計	8,693,538	9,843,521
固定資産合計	12,011,734	13,110,785
資産合計	21,490,994	23,475,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	977,866	1,116,918
短期借入金	1,315,989	1,281,260
未払法人税等	96,424	322,732
未払消費税等	17,691	31,399
賞与引当金	116,663	116,878
その他	627,678	763,746
流動負債合計	3,152,314	3,632,935
固定負債		
長期借入金	294,859	329,342
繰延税金負債	545,944	732,412
退職給付に係る負債	53,268	-
資産除去債務	67,328	76,885
その他	523,361	457,345
固定負債合計	1,484,762	1,595,986
負債合計	4,637,076	5,228,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	12,557,481	13,460,462
自己株式	△717,161	△717,257
株主資本合計	15,414,123	16,317,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,525,792	2,055,391
為替換算調整勘定	104,603	21,656
退職給付に係る調整累計額	△80,165	△26,088
その他の包括利益累計額合計	1,550,229	2,050,959
非支配株主持分	△110,434	△121,242
純資産合計	16,853,917	18,246,726
負債純資産合計	21,490,994	23,475,647

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	18,958,964	18,992,703
売上原価	13,698,310	13,866,647
売上総利益	5,260,653	5,126,056
販売費及び一般管理費	3,769,420	3,689,645
営業利益	1,491,233	1,436,411
営業外収益		
受取利息	32,812	31,271
受取配当金	76,125	81,097
為替差益	-	83,226
持分法による投資利益	111,255	118,025
その他	23,029	39,502
営業外収益合計	243,222	353,122
営業外費用		
支払利息	23,000	15,665
為替差損	58,654	-
貸倒引当金繰入額	394	-
その他	7,790	2,192
営業外費用合計	89,839	17,857
経常利益	1,644,616	1,771,675
特別利益		
投資有価証券売却益	12	-
特別利益合計	12	-
特別損失		
固定資産除却損	-	14,924
固定資産売却損	-	59
減損損失	-	24,914
解体撤去費用	-	91,500
投資有価証券売却損	15,341	-
特別損失合計	15,341	131,398
税金等調整前当期純利益	1,629,286	1,640,277
法人税、住民税及び事業税	416,415	510,522
法人税等調整額	24,182	△64,749
法人税等合計	440,597	445,773
当期純利益	1,188,689	1,194,504
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△8,391	△3,850
親会社株主に帰属する当期純利益	1,197,080	1,198,355

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,188,689	1,194,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201,479	529,599
為替換算調整勘定	70,056	△89,903
退職給付に係る調整額	△34,590	54,077
その他の包括利益合計	△166,013	493,773
包括利益	1,022,675	1,688,277
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,025,936	1,699,085
非支配株主に係る包括利益	△3,260	△10,807

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,524,460	2,049,343	11,724,125	△717,126	14,580,802
会計方針の変更による累積的影響額			△68,350		△68,350
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,524,460	2,049,343	11,655,775	△717,126	14,512,452
当期変動額					
剰余金の配当			△295,374		△295,374
親会社株主に帰属する当期純利益			1,197,080		1,197,080
自己株式の取得				△35	△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	901,706	△35	901,670
当期末残高	1,524,460	2,049,343	12,557,481	△717,161	15,414,123

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,727,271	41,938	△45,575	1,723,634	△94,757	16,209,679
会計方針の変更による累積的影響額						△68,350
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,727,271	41,938	△45,575	1,723,634	△94,757	16,141,329
当期変動額						
剰余金の配当						△295,374
親会社株主に帰属する当期純利益						1,197,080
自己株式の取得						△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△201,479	62,664	△34,590	△173,405	△15,677	△189,082
当期変動額合計	△201,479	62,664	△34,590	△173,405	△15,677	712,587
当期末残高	1,525,792	104,603	△80,165	1,550,229	△110,434	16,853,917

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,524,460	2,049,343	12,557,481	△717,161	15,414,123
会計方針の変更による累積的影響額			—		—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,524,460	2,049,343	12,557,481	△717,161	15,414,123
当期変動額					
剰余金の配当			△295,373		△295,373
親会社株主に帰属する当期純利益			1,198,355		1,198,355
自己株式の取得				△95	△95
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	902,981	△95	902,885
当期末残高	1,524,460	2,049,343	13,460,462	△717,257	16,317,009

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,525,792	104,603	△80,165	1,550,229	△110,434	16,853,917
会計方針の変更による累積的影響額						—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,525,792	104,603	△80,165	1,550,229	△110,434	16,853,917
当期変動額						
剰余金の配当						△295,373
親会社株主に帰属する当期純利益						1,198,355
自己株式の取得						△95
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	529,599	△82,946	54,077	500,729	△10,807	489,922
当期変動額合計	529,599	△82,946	54,077	500,729	△10,807	1,392,808
当期末残高	2,055,391	21,656	△26,088	2,050,959	△121,242	18,246,726

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,629,286	1,640,277
減価償却費	134,290	197,861
のれん償却額	107,989	35,147
減損損失	-	24,914
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,255	215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,300	△6,464
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19,288	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△11,992
受取利息及び受取配当金	△108,937	△112,369
支払利息	23,000	15,665
為替差損益(△は益)	58,654	△83,226
持分法による投資損益(△は益)	△111,255	△118,025
投資有価証券売却損益(△は益)	15,329	-
固定資産除却損	-	14,924
固定資産売却損益(△は益)	-	59
売上債権の増減額(△は増加)	129,869	△222,805
たな卸資産の増減額(△は増加)	215,740	363,588
未収入金の増減額(△は増加)	3,376	△7,118
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△6,170	7,877
仕入債務の増減額(△は減少)	△479,476	133,603
未払消費税等の増減額(△は減少)	△74,315	13,707
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△47,899	128,667
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△20,027	△50,379
その他	△791	45,631
小計	1,453,930	2,009,759
利息及び配当金の受取額	121,820	135,443
利息の支払額	△20,762	△16,729
法人税等の支払額	△805,129	△290,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	749,858	1,837,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却及び償還による収入	84,896	-
投資有価証券の取得による支出	△439,199	△248,972
有形固定資産の取得による支出	△90,077	△225,876
有形固定資産の売却による収入	-	9
無形固定資産の取得による支出	△26,821	△5,979
長期貸付金の回収による収入	1,075,200	1,046,724
長期貸付けによる支出	△1,470,000	△890,000
差入保証金の差入による支出	△35,875	-
その他	-	△154,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901,877	△478,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,250	43,775
長期借入れによる収入	6,020	100,000
長期借入金の返済による支出	△278,878	△172,946
自己株式の取得による支出	△35	△95
リース債務の返済による支出	△20,835	△20,388
配当金の支払額	△295,374	△295,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△576,854	△345,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,863	15,154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△734,737	1,028,985
現金及び現金同等物の期首残高	3,673,473	2,938,735
現金及び現金同等物の期末残高	2,938,735	3,967,721

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各拠点に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「精糖」、「機能性素材」、「不動産」及び「その他食品」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントを構成する主要製品及びサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品及びサービス
精糖	精製糖、液糖、砂糖関連製品等
機能性素材	食品添加物、切花活力剤、機能性食品素材、天然添加物素材等
不動産	不動産賃貸等
その他食品	製パン

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,727,360	7,432,158	601,266	198,179	18,958,964	—	18,958,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,688	—	6,796	21,453	36,938	△36,938	—
計	10,736,049	7,432,158	608,063	219,632	18,995,903	△36,938	18,958,964
セグメント利益 又は損失(△)	1,579,421	320,605	512,646	△56,815	2,355,857	△864,624	1,491,233
セグメント資産	10,028,683	4,113,316	1,855,409	123,926	16,121,336	5,369,658	21,490,994
その他の項目							
減価償却費	48,534	61,024	23,947	783	134,290	—	134,290
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
のれんの償却額	—	107,989	—	—	107,989	—	107,989
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	9,636	69,945	—	7,957	87,538	—	87,538

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△864,624千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額5,369,658千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,510,674	7,653,286	581,715	247,026	18,992,703	—	18,992,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,992	—	6,703	21,403	39,098	△39,098	—
計	10,521,667	7,653,286	588,419	268,429	19,031,802	△39,098	18,992,703
セグメント利益 又は損失(△)	1,579,242	360,620	459,088	△25,121	2,373,830	△937,419	1,436,411
セグメント資産	10,584,262	4,394,432	1,766,518	146,657	16,891,870	6,583,777	23,475,647
その他の項目							
減価償却費	46,618	69,130	78,984	207	194,941	2,919	197,861
減損損失	24,914	—	—	—	24,914	—	24,914
のれんの償却額	—	35,147	—	—	35,147	—	35,147
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	25,396	175,202	—	6,897	207,497	43,558	251,055

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△937,419千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。
なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額6,583,777千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額2,919千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額43,558千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
双日株式会社	8,159,687	精糖及び機能性素材

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
双日株式会社	7,997,616	精糖及び機能性素材

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略してあります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計額
	精糖	機能性素材	不動産	その他食品	計		
当期末残高	—	37,864	—	—	37,864	—	37,864

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計額
	精糖	機能性素材	不動産	その他食品	計		
当期末残高	—	2,716	—	—	2,716	—	2,716

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	631.77円	684.04円
1株当たり当期純利益金額	44.58円	44.63円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	16,853,917	18,246,726
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	△110,434	△121,242
(うち非支配株主持分(千円))	(△110,434)	(△121,242)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	16,964,352	18,367,968
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	26,852	26,852

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,197,080	1,198,355
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,197,080	1,198,355
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(重要な後発事象)

該当事項はありません。